

# 平成 30 年度 事業報告

(平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

本年は、理事会主導で学会の活性化へ繋がる多数の新事業等を開始した。学会賞及び業績賞の受賞者に対して、新たにMSJフェロー称号の授与制度を開始することにより、学会への様々な形での提言をいただく機会につなげることにした。

学術講演会において、ポスター講演を復活させるとともに、新たにポスター講演賞を設け学生会員の論文発表や研究者との交流の場を提供した。熱心な議論で盛り上がり学術講演会の活性化へつなげることができた。合わせて企業展示にも力を入れ、企業と参加者をつなぐ重要な情報交換の場を設けることができた。

また若手研究者の論文誌への投稿を促す機会として、MSJ論文奨励賞による表彰を継続実施した。新たに理事会では、副会長（運営戦略担当）を中心に広告タスクフォースを立ち上げ広告代理店との密接な連携により、学会報まぐねへの投稿勧誘を積極的に実施した。結果的に、多数の広告掲載・情報提供へつなげることができ、財政健全化に資する活動として推進することができた。

その他、論文誌(JMSJ)・論文特集号(TMSJ)の電子化、学術講演会概要集の Web 配信などによる経費削減に努めた。

## I 事業の状況

### 1. 研究発表会、講演会等の開催（定款 4 条 1 号）

#### 1. 1 学術講演会及びシンポジウム

本年度は、研究成果の発表・討論の場として第 42 回学術講演会を主催した。

#### ◎第 42 回学術講演会

期日：	平成 30 年 9 月 11 日（火）～14 日（金）
会場：	日本大学駿河台キャンパス（東京都）
実行委員長：	中川活二（日本大学）
講演件数：	273 件（うちポスター講演 61 件）
セッション数：	40
参加者数：	545 名

#### ※シンポジウム一覧

- 1) “Magneto morphological control in material processing” 参加者：20 名
- 2) “Microwave-assisted magnetic recording and its application for 3D magnetic recording” 参加者：60 名
- 3) “Biomagnetics: breakthrough and commercialization” 参加者：30 名

- 4) “Frontiers of spin-orbitronics” 参加者：75名
- 5) “Perspective of ultra-high-sensitive magnetic sensors” 参加者：90名
- 6) “Multiscale analysis of magnetic materials and its application for electrical vehicle drive system” 参加者：50名
- 7) “Magnetic thin films: synthesis and spectroscopy” 参加者：25名

#### ◎ポスター講演賞

今回の学術講演会よりポスターセッションを復活させ、優秀な講演を行った登壇者に対して「ポスター講演賞」の授与を行った。

- ・11pPS-2 岩崎 秀（慶應義塾大学）  
「鉄系超伝導体  $\text{Sr}_2\text{VFeAsO}_{3-\delta}$  を用いた丸状およびテープ状 超伝導線材の評価」
- ・11pPS-12 山根 治起（秋田県産業技術センター）  
「CoPt-Ag ナノ構造体における局在プラズモン共鳴と磁気光学特性」
- ・11pPS-14 孫 銘嶺（東北大学）  
「Perpendicular magnetic anisotropy and the crystal structure of C38-type MnGaGe films」
- ・11pPS-19 笠谷 雄一（日本大学）  
「希土類—遷移金属フェリ磁性体/4f 金属ヘテロ接合におけるスピン軌道トルク」
- ・12aPS-37 古我城 航（東京工業大学）  
「非連続に格子が伸張した  $\text{Ce}(\text{Co}_{1-x}\text{Cu}_x)_5$  薄膜の磁化特性の評価」
- ・12aPS-46 千葉 桃子（岩手大学）  
「中空構造を有する  $\text{Fe}_{304}$  微粒子における磁気一次反転曲線」
- ・12aPS-55 占部 諒（九州工業大学）  
「液冷システム用磁気駆動マイクロポンプの特性改善」
- ・12aPS-56 松井 利樹（九州工業大学）  
「カプセル型医療機器に内蔵可能な磁気駆動生検機構」

#### ◎企業展示の充実

副会長（運営戦略担当）を中心とした広告タスクフォースを立ち上げ、学術講演会における企業展示勧誘を積極的に実施した。新たな出展企業も複数あったことから、例年の学術講演会での出展企業数を上回り、参加者への情報提供・交流の場として、有効に活用することができた。

## 1. 2 研究会

第 218 回から 222 回までの 5 回の研究会を下記の通り開催した。

- 1) 第 218 回研究会 「磁気記録用材料の将来と課題について」  
期日：平成 30 年 5 月 18 日（金）  
会場：中央大学駿河台記念館（東京都）  
参加者：50 名
- 2) 第 219 回研究会／第 82 回ナノマグネティックス専門研究会  
「ひずみと磁性の相関における新展開」  
期日：平成 30 年 8 月 3 日（金）  
会場：中央大学駿河台記念館（東京都）  
参加者：31 名
- 3) 第 220 回研究会／第 36 回光機能磁性デバイス・材料専門研究会  
「光・熱・電気伝導に関する磁気物理の進展」  
期日：平成 30 年 11 月 22 日（木）  
会場：中央大学駿河台記念館（東京都）  
参加者：35 名
- 4) 第 221 回研究会 「回転機用磁性材料の技術と応用」  
期日：平成 31 年 1 月 24 日（木）  
会場：中央大学駿河台記念館（東京都）  
参加者：38 名
- 5) 第 222 回研究会／第 2 回磁気センサ専門研究会  
「TMR 磁気センサの製品応用に向けた開発と次世代磁気検出技術の進展」  
期日：平成 31 年 3 月 18 日（金）  
会場：中央大学駿河台記念館（東京都）  
参加者：38 名

## 1. 3 講習会、公開講座

初等磁気工学講座、サマースクール、公開講演会を開催した。

### ◎第 23 回初等磁気工学講座

期日：平成 30 年 6 月 19 日（火）  
会場：中央大学駿河台記念館（東京都）  
参加者：33 名

### ◎第 41 回サマースクール

期日：平成 30 年 6 月 20 日（水）～22 日（金）  
会場：中央大学駿河台記念館（東京都）  
参加者：42 名

◎第 26 回公開講演会「磁石の不思議な世界ー聞いて、さわって、体験しようー」

期日：平成 30 年 9 月 15 日（土）

会場：日本大学駿河台キャンパス

参加者：児童 24 名

1. 4 専門研究会

本年度はナノマグネティックス専門研究会、スピネレクトロニクス専門研究会、化合物新磁性材料専門研究会、強磁場応用専門研究会、光機能磁性デバイス・材料専門研究会、エネルギーマグネティックス専門研究会、バイオマグネティックス専門研究会、磁気センサ専門研究会を下記の通り開催した。

専門研究会間の交流・活性化を目的として、今年度も専門研究会幹事会を開催した。

1) ナノマグネティックス専門研究会

回数	期日	会場	参加者
第 80 回	平成 30 年 5 月 25 日	東京大学 本郷キャンパス	18 名
第 81 回	平成 30 年 6 月 29 日	東京大学 本郷キャンパス	17 名
第 82 回	平成 30 年 8 月 3 日	中央大学駿河台記念館	31 名
第 83 回	平成 30 年 10 月 18 日・19 日	大阪大学 吹田キャンパス	32 名
第 84 回	平成 30 年 11 月 30 日	中央大学駿河台記念館	17 名

2) スピネレクトロニクス専門研究会

回数	期日	会場	参加者
第 68 回	平成 30 年 7 月 6 日	京都大学化学研究所 宇治キャンパス	34 名
第 69 回	平成 30 年 9 月 12 日	日本大学 駿河台キャンパス	80 名
第 70 回	平成 30 年 12 月 19 日	東北大学 金属材料研究所	26 名
第 71 回	平成 31 年 3 月 29 日	中央大学駿河台記念館	21 名

3) 化合物新磁性材料専門研究会

回数	期日	会場	参加者
第 63 回	平成 30 年 7 月 30 日	岡山大学 津島キャンパス	40 名
第 64 回	平成 30 年 9 月 28 日	筑波大学 筑波キャンパス	5 名
第 65 回	平成 30 年 9 月 14 日	日本大学 駿河台キャンパス	5 名

4) 強磁場応用専門研究会

回数	期日	会場	参加者
第 47 回	平成 30 年 9 月 11 日	日本大学 駿河台キャンパス	25 名
第 48 回	平成 30 年 10 月 19 日	大阪大学	23 名
第 49 回	平成 31 年 3 月 5 日	大阪大学	12 名
第 50 回	平成 31 年 3 月 28 日	大阪大学 東京ブランチ	28 名

5) 光機能磁性デバイス・材料専門研究会

回数	期日	会場	参加者
第 36 回	平成 30 年 11 月 22 日	中央大学駿河台記念館	35 名
第 37 回	平成 30 年 12 月 3 日	豊橋技術科学大学	44 名
第 38 回	平成 31 年 1 月 28 日	長岡技術科学大学 東京サテライト キャンパス	24 名

6) エネルギーマグネティックス専門研究会

回数	期日	会場	参加者
第 8 回	平成 30 年 8 月 29 日	横浜国立大学	114 名
第 9 回	平成 30 年 9 月 13 日	日本大学 駿河台キャンパス	50 名
第 10 回	平成 31 年 3 月 14 日	北海道科学大学	50 名

7) バイオマグネティックス専門研究会

回数	期日	会場	参加者
第 1 回	平成 30 年 9 月 12 日	日本大学 駿河台キャンパス	45 名
第 2 回	平成 30 年 11 月 5 日-6 日	横浜国立大学	42 名

8) 磁気センサ専門研究会

回数	期日	会場	参加者
第 1 回	平成 30 年 9 月 13 日	日本大学 駿河台キャンパス	120 名
第 2 回	平成 31 年 3 月 18 日	中央大学駿河台記念館	38 名

1. 5 国際会議の主催、共催

本年度は、下記の会議を協賛した。

- 1) International Symposium on Imaging, Sensing, and Optical Memory 2018  
(ISOM'18) 北九州国際会議場 2018年10月21日(日)~24日(水)

2) International Symposium & School on Crystal Growth Fundamentals  
ホテル佐勘 2018年11月3日(土)～7日(水)

3) The 9th International Symposium on Electromagnetic Processing of Materials  
(EPM2018) 兵庫県立夢舞台国際会議場 2018年10月14日(日)～18日(木)

## 1. 6 国際会議の準備

本年度より、下記の国際会議の準備を開始した。

- ・ Joint IcAUMS-ISAMMA 2020 (沖縄コンベンションセンター) 2020年12月14～17日  
※理事会を中心に準備委員会を立ち上げ、開催に関する検討を始めた。
- ・ INTERMAG 2023 (仙台国際センター) 2023年4月もしくは5月予定  
※アジア数か国での招致活動があったが、2018年11月に仙台開催が決定された。

## 2. 学会誌の刊行 (定款4条2号)

Journal of the Magnetism Society of Japan (JMSJ) を42巻3号より43巻2号まで計6回、日本磁気学会論文特集号を2巻1号より2巻2号まで計2回、また会報「まぐね」を13巻2号より14巻1号の計6回発行した。「JMSJ」は論文に特化し、英文論文を掲載した。「日本磁気学会論文特集号」は学術講演会での講演に基づいた論文で、和文、英文によらない論文を掲載した。また、学生の研究と論文投稿を奨励するため、これら論文誌の各号ごとにMSJ論文奨励賞授賞の選考を行った。「まぐね」は論説、解説、特集記事、連載講座など寄稿記事を中心に編集した。また、JMSJのSCOPUSへの登録申請をした。

### 2. 1 学会誌 Journal of the Magnetism Society of Japan

巻—号	発行年月日	内容 (詳細は各号の目次参照)
42-3	平成30年5月1日	論文5件、総ページ数 34
42-4	平成30年7月1日	論文1件、総ページ数 6
42-5	平成30年9月1日	論文2件、総ページ数 17
42-6	平成30年11月1日	論文2件、総ページ数 19
43-1	平成31年1月1日	論文3件、総ページ数 16
43-2	平成31年3月1日	論文5件、総ページ数 25

\*印刷冊子ではなく、Web掲載とし、12月に1巻分をまとめたCDを配布。

### 2. 2 日本磁気学会論文特集号

#### Transaction of the Magnetism Society of Japan -Special Issues-

巻—号	発行年月日	内容 (詳細は各号の目次参照)
2-1	平成30年5月1日	論文10件、総ページ数 47
2-2	平成30年9月1日	論文2件、総ページ数 8

\*印刷冊子ではなく、Web掲載とし、12月に1巻分をまとめたCDを配布。

## 2. 3 MSJ 論文奨励賞の授与

掲載論文発行月	掲載誌、受賞部門、受賞者所属および氏名
平成 30 年 5 月	<p><b>Journal of the Magnetism Society of Japan 42-3</b></p> <p>&lt;博士課程の部&gt; 住友重機械工業株式会社（社会人学生） 木下 創</p> <p>&lt;修士課程の部&gt; 大阪大学 長谷川 諒</p> <p>日本磁気学会論文特集号 2-1</p> <p>&lt;修士課程の部&gt; 秋田大学 齊藤 秀和 東北大学 菊地 忠裕 東北大学 市川 優太</p>
平成 31 年 1 月	<p><b>Journal of the Magnetism Society of Japan 43-1</b></p> <p>&lt;博士課程の部&gt; 京都大学 小田 研人</p>
平成 31 年 3 月	<p><b>Journal of the Magnetism Society of Japan 43-2</b></p> <p>&lt;博士課程の部&gt; 京都大学 安藤 冬希</p>

## 2. 4 会報誌「まぐね」

巻一号	発行年月日	内容(詳細は各号の目次参照)
13-2	平成 30 年 4 月 1 日	<p>論説「シミュレーションへの誘い」(上原裕二)</p> <p>特集「フェライト材料～磁石としての基礎・最新動向から材料応用の新展開まで～」</p> <p>解説 2 件、トピックス 2 件</p> <p>新技術・新製品 1 件</p> <p>総ページ数 44</p>
13-3	平成 30 年 6 月 1 日	<p>論説「科学技術とイノベーションについて」(松山公秀)</p> <p>特集「磁性研究普及のための磁石を使った実験」</p> <p>解説 4 件</p> <p>初等連載講座 1 件</p> <p>磁気研究よもやま話 1 件</p> <p>総ページ数 58</p>
13-4	平成 30 年 8 月 1 日	<p>論説「磁性研究を通して学んだこと」(佐藤徹哉)</p> <p>特集「磁性ナノ粒子の医療応用」</p> <p>解説 1 件、トピックス 4 件</p> <p>初等連載講座 1 件</p> <p>総ページ数 56</p>
13-5	平成 30 年 10 月 1 日	<p>論説「磁場の活用で未来を切り拓く」(吉澤正人)</p> <p>特集「反強磁性スピントロニクスの新展開」</p> <p>解説 1 件、トピックス 4 件</p>

		初等連載講座 1 件 磁気研究よもやま話 1 件 総ページ数 58
13-6	平成 30 年 12 月 1 日	平成 30 年度日本磁気学会授賞紹介 論説「価値創成のための Technology and Engineering Management」(兒玉直樹) 特集「トポロジカルエレクトロニクスとその周辺」 解説 1 件、トピックス 4 件 初等連載講座 1 件 総ページ数 86
14-1	平成 31 年 2 月 1 日	論説「今できることはなんだろう」(山口正洋) 特集「第 5 世代移動体通信に関連する高周波磁気工学の最前線」 解説 2 件、トピックス 3 件 初等連載講座 1 件 磁気研究よもやま話 1 件 総ページ数 72

本年度、副会長（運営戦略担当）を中心に広告タスクフォースを立ち上げ、広告代理店との契約の見直しを 7 月に実施した。新たな枠組みの中で広告代理店と密接に協力し、学会報まぐねへの広告投稿勧誘を積極的に実施した。広告出稿企業のすそ野を広げることができ、まぐねの魅力向上につながった。

### 3. 研究および調査の実施（定款 4 条 3 号）

#### 3. 1 技術情報サービス等による情報提供

磁気の学理および応用に関する研究領域における最先端情報の調査をすすめ、技術情報サービス（No.156～164）やメールマガジン（No.222～239）により会員へ情報提供を行ったほか、Facebook による情報発信サービスを行った。

#### 3. 2 磁気研究の活性化に資する広報活動の強化

本学会が関連する分野の研究活動を活発にするため、各種会合、講演会、展示会などにおいて本学会の広報活動を強化した。ポスターや入会案内パンフレット等による会員入会勧誘を積極的に推進した。また学会パンフレットの改訂やメディアデータ（学会報まぐねへの広告勧誘用パンフレット）の整備も行った。

#### 3. 3 ホームページの充実

本学会ホームページの構成を見直し、新ホームページへ移行した。スマホ・タブレット対応も含め、ユーザーの視認性や利便性を高めた。また英語化も推進した。

#### 4. 研究の奨励及び研究業績の表彰（定款4条4号）

平成30年度学会賞、業績賞、優秀研究賞、論文賞、出版賞、学術奨励賞、学生講演賞、新技術・新製品賞および学会活動貢献賞の表彰を、下記の通り行った。また、新たに学会賞および業績賞受賞者に対して、MSJフェロー称号の授与を開始した。学会へのこれまでの貢献に対して尊敬と感謝の意を示すと共に、授与された者がフェローもしくはライフフェローとして、引き続き学会活動に積極的に寄与することを促すことにより、学会の活性化を推進する。

学会賞、業績賞、優秀研究賞：高梨弘毅委員長、論文賞、学術奨励賞、出版賞：早乙女英夫委員長、学生講演賞、技術功労賞、新技術・新製品賞：新妻清純委員長、学会活動貢献賞：新妻清純委員長、の体制でそれぞれ選考を担当した。

##### ◎学会賞・フェロー

- ・村岡 裕明 氏（東北大学）

「垂直磁気記録方式による高密度磁気記録システム技術に関する研究」

##### ◎業績賞・フェロー

- ・安藤 康夫 氏（東北大学）

「強磁性トンネル接合の高性能化とスピントロニクスデバイスへの応用」

- ・杉本 諭 氏（東北大学）

「永久磁石材料の高性能化・多機能化に関する研究」

##### ◎優秀研究賞

- ・深見 俊輔 氏（東北大学）

「高速メモリ・人工神経回路網応用に向けた不揮発性スピントロニクス素子技術に関する研究」

- ・日置 敬子 氏（大同特殊鋼株式会社）

「重希土類フリー熱間加工ネオジム磁石の開発」

##### ◎論文賞

- ・T. Maki, T. Nishiuchi and M. Takezawa

「Influence of Misorientation Angle Between Adjacent Grains on Magnetization Reversal in Nd-Fe-B Based Sintered Magnet」

J. Magn. Soc. Jpn., **42**, pp.24-29 (2018)

##### ◎学術奨励賞（内山賞）

- ・菊池 忠裕 氏（東北大学）

「MAMR を用いた二層記録における上層と下層の間の交換結合の影響について」

日本磁気学会論文特集号 **2**, pp.1-4 (2018)

- ・金尾 太郎 氏 (株式会社 東芝)  
 「スピントルク発振素子を用いた2層の反強磁性結合記録磁化における選択的共鳴読み出し: マイクロマグネティックシミュレーション」  
 日本磁気学会論文特集号 2, pp.10-14 (2018)
- ・増田 啓介 氏 (物質・材料研究機構)  
 「Theoretical Study on Magnetic Tunneling Junctions with Semiconductor Barriers CuInSe<sub>2</sub> and CuGaSe<sub>2</sub> Including a Detailed Analysis of Band-Resolved Transmittances」  
 J. Magn. Soc. Jpn., 42, pp.37-40 (2018)
- ・酒井 諒典 氏 (秋田大学)  
 「Study on Analysis of Torque-Slip Characteristics of Axial Gap Induction Motor」  
 日本磁気学会論文特集号 2, pp.43-47 (2018)
- ・竹田 遼二 氏 (横浜国立大学)  
 「Dynamic Hysteresis Measurement of Magnetic Nanoparticles with Aligned Easy Axes」  
 J. Magn. Soc. Jpn., 42, pp.55-61 (2018)

◎学生講演賞 (櫻井講演賞)

- ・高尾 健太 氏 (京都大学)  
 「永久磁石材料の微視的評価に向けた強磁性無同調 NMR システムの開発」  
 講演番号: 第 41 回 学術講演会 19aA-3
- ・青戸 知広 氏 (横浜国立大学)  
 「ハイパーサーミア用人体サイズコイルの磁場・電場の効果」  
 講演番号: 第 41 回 学術講演会 20pA-6
- ・橋本 侑也 氏 (名古屋大学)  
 「FeSiB フリー層を有するスピバルブ型 GMR 歪みセンサ」  
 講演番号: 第 41 回 学術講演会 21aD-1
- ・酒井 宗一郎 氏 (大阪大学)  
 「エピタキシャル CoFe/Ge/Fe<sub>3</sub>Si 縦型構造の低温成長とその磁気特性」  
 講演番号: 第 41 回 学術講演会 21pA-11
- ・清水 智貴 氏 (中央大学)  
 「VN および VC 下地層上に形成した平坦 FePt 薄膜の配向性に及ぼすギャップ層の影響」  
 講演番号: 第 41 回 学術講演会 21pB-9

- ・上野 鷹幸 氏 (東京電機大学)  
「Tb-Fe-Co/MgO/Gd-Fe MTJ 素子における電圧制御磁気異方性変化」  
講演番号：第 41 回 学術講演会 22aA-3
- ・酒井 諒典 氏 (秋田大学)  
「アキシナルギャップ誘導モータの基礎特性解析に関する研究」  
講演番号：第 41 回 学術講演会 22aB-1
- ・三吉 啓介 氏 (日本大学)  
「急速熱処理 L1<sub>0</sub>-FePt 形成における窒化膜下地の Fe dead 層低減効果」  
講演番号：第 41 回 学術講演会 22aC-1
- ・石川 徹 氏 (名古屋大学)  
「走査型 XMCD 顕微鏡によるイオン照射型 L1<sub>0</sub>-MnGa ビットパターン膜の局所的磁気状態の評価」  
講演番号：第 41 回 学術講演会 22aC-10

#### ◎技術功労賞

- ・上原 裕二 氏 (元 富士通株式会社)  
「磁気記録ヘッド開発と大規模マイクロマグネティクスシミュレータ開発」
- ・漆畑 貴美子 氏 (静岡理工科大学)  
「磁気力顕微鏡を用いた磁石材料の磁区構造観察及び VSM を中心とする磁気特性測定による磁石材料の研究・開発に対する貢献」

#### ◎新技術・新製品賞

- ・大日向 敬 氏、有松 健司 氏 (東北電力株式会社)、一ノ倉 理 氏 (東北大学)  
「磁束制御型高圧電圧調整装置 MAVICS の開発」
- ・河原 正美 氏 (株式会社高純度化学研究所)、石橋 隆幸 氏 (長岡技術科学大学)、  
佐々木 教真 氏 (株式会社オフダイアゴナル)  
「磁気光学イメージングプレート及びその形成材料の開発」

#### ◎出版賞

- ・井上 順一郎 氏、伊藤 博介 氏  
書籍名/出版社：「スピントロニクスー基礎編ー」(共立出版)

◎学会活動貢献賞

- ・落合 隆夫 氏 (東芝メモリ株式会社)、野村 光 氏 (大阪大学)  
「企画委員会活動を通じた学会活動の活性化への貢献」
- ・齊藤 敏明 氏 (東邦大学)、加藤 宏朗 氏 (山形大学)、田島 克文 氏 (秋田大学)  
「編集委員会活動を通じた学会活動の活性化への貢献」
- ・田中 輝光 氏 (九州大学)  
「第 41 回日本磁気学会学術講演会開催への貢献」

5. 内外の関連学協会との連絡及び協力 (定款 4 条 5 号)

下記の会合を協賛した。(開催日順)

- 1) 2018 年 春季研究会 (一社)日本時計学会  
中央大学後樂園キャンパス 2018 年 4 月 26 日(木)
- 2) ナノ学会第 16 回大会 ナノ学会  
東京大学浅野キャンパス 2018 年 5 月 10 日(木)~12 日(土)
- 3) 第 34 回希土類学会 日本希土類学会  
タワーホール船堀 2018 年 5 月 15 日(火)~16 日(水)
- 4) 第 30 回電磁力関連のダイナミクス(SEAD30) (一社)電気学会  
長野市生涯学習センター 2018 年 5 月 23 日(水)~25 日(金)
- 5) 平成 30 年度日本材料科学会学術講演大会 日本材料科学会  
関東学院大学KGU 関内メディアセンター 2018 年 5 月 31 日(木)
- 6) 平成 30 年度 J-PARC MLF 産業利用報告会 茨城県  
秋葉原コンベンションホール 2018 年 7 月 23 日(月)~24 日(火)
- 7) 第 46 回薄膜・表面物理セミナー (一社)日本時計学会  
産総研臨海副都心センター 2018 年 7 月 27 日(金)
- 8) 第 4 回マテリアルズインフォマティクス基礎研究会 日本材料科学会  
北海道大学 2018 年 9 月 2 日(日)~3 日(月)
- 9) 第 31 回秋季シンポジウム (公社)日本セラミックス協会  
名古屋工業大学 2018 年 9 月 5 日(水) ~7 日(金)

- |   |  |
|---|--|
| 1 0) 第 37 次モータ技術フォーラム<br>日本能率協会                 | (一社)日本能率協会<br>2018 年 9 月～2019 年 3 月          |
| 1 1) 第 54 回 X 線分析討論会<br>東京理科大学神楽坂キャンパス          | (公社)日本分析化学会<br>2018 年 10 月 25 日(木)～26 日(金)   |
| 1 2) 第 47 回結晶成長国内会議(JCCG-47)<br>仙台市戦災復興記念館      | 日本結晶成長学会<br>2018 年 10 月 31 日(水)～11 月 2 日(金)  |
| 1 3) 日本希土類学会第 36 回講演会<br>両国ビューホテル               | 日本希土類学会<br>2018 年 11 月 7 日(水)                |
| 1 4) 第 21 回ミレニアム・サイエンスフォーラム<br>駐日英国大使館          | ミレニアム・サイエンスフォーラム<br>2018 年 11 月 9 日(金)       |
| 1 5) 第 13 回日本磁気科学会年会<br>東北大学金属材料研究所             | 日本磁気科学会<br>2018 年 11 月 12 日(月)～14 日(水)       |
| 1 6) 第 27 回ポリマー材料フォーラム<br>タワーホール船堀              | (公社)高分子学会<br>2018 年 11 月 21 日(水)～22 日(木)     |
| 1 7) 第 28 回 RCJ 信頼性シンポジウム<br>産業プラザ(PIO)         | 日本電子部品信頼センター<br>2018 年 11 月 27 日(火)～28 日(水)  |
| 1 8) 平成 30 年度磁性流体連合講演会<br>イチネンケミカルズ研究開発センター     | 磁性流体研究連絡会<br>2018 年 12 月 6 日(木)～7 日(金)       |
| 1 9) 2019 年度 時計学会春季研究会<br>中央大学理工学部校舎            | (一社)日本時計学会<br>2019 年 1 月 15 日(火)             |
| 2 0) 2018 年度量子ビームサイエンスフェスタ<br>つくば国際会議場(エポカルつくば) | KEK 物質構造科学研究所他<br>2019 年 3 月 12 日(火)～13 日(水) |
| 2 1) 日本時計学会 2019 年度特別研究会<br>ミットヨ測定博物館           | (一社)日本時計学会<br>2019 年 3 月 15 日(金)             |

## II 処務の概要

### 1 会議

平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日の間に下記の会議を開催した。

## 1) 総会

本年度は平成 30 年 6 月 11 日に通常総会を行い、下記議案が審議され、原案通り可決された。これまでの懸案事項であった定款の改訂については、理事会で「委任状対策プロジェクト」を立ち上げ、正会員に呼びかけを集中的に行った結果、必要な定足数に達し、審議を完了することができた。

通常総会議案として、定款の改訂、平成 29 年度事業報告、平成 29 年度収支決算報告、平成 30 年度事業計画、平成 30 年度収支予算、名誉会員の推薦などの議案が上程された。

その他、「新・将来ビジョン 2018 ～学会設立 50 周年を見据えて～」の制定についても報告された。

## 2) 顧問会

顧問会を平成 30 年 9 月 13 日に開催した。

## 3) 理事会

下記期日に開催した。

平成 30 年 5 月 10 日、平成 30 年 7 月 30 日、平成 30 年 11 月 21 日、  
平成 30 年 12 月 26 日、平成 31 年 3 月 11 日

## 4) 諸委員会

総務委員会 3 回、 財務委員会 2 回、 企画委員会 6 回  
編集委員会 6 回、 広報委員会 1 回、 AUMS Council meeting 2 回  
学会賞、業績賞、優秀研究賞選考委員会 1 回  
論文賞、学術奨励賞（内山賞）選考委員会 1 回、  
学生講演賞、新技術・新製品賞、学会活動貢献賞選考委員会 3 回（メール審議）  
出版賞選考委員会 1 回

## 5) その他

名誉会員懇談会および賛助会員懇談会を平成 30 年 9 月 12 日に開催した。

賛助会員として学会を支えている企業のうち数社を訪問し、各企業の社風や業態などに関するインタビューを実施し、その内容を学会報まぐねに「賛助会員訪問記」として掲載した。賛助会員の貢献に対する本学会の謝意を表す活動として継続実施する。

また、賛助会員と会員をつなぐ活動の一助として、学会報まぐねの「新技術・新製品」コーナーへの投稿呼びかけも継続する。

## 2 契約に関する事項

### ◎契約案件一覧

契約年月日	相手方	契約の内容	期間
平成 28 年 3 月 26 日	韓国磁気学会	相互協力に関する合意	5 年
平成 29 年 4 月 1 日	学協会著作権協議会	複写に関わる権利委託	5 年
平成 29 年 12 月 2 日	台湾磁気技術協会	相互協力に関する合意	5 年

平成 30 年 4 月 1 日	学術情報学研究所	電子図書館サービス	1 年
平成 30 年 4 月 1 日	高垣公認会計士 税理士事務所	決算の監査	1 年
平成 30 年 4 月 1 日	Mr. Michael Gallagher	日本磁気学会誌英文、リライト	1 年
平成 30 年 5 月 23 日	(株)科学技術社	学会誌の広告に関する代理業務	1 年
平成 30 年 12 月 10 日	(株)国際文献印刷社	日本磁気学会誌印刷	1 年
平成 30 年 3 月 12 日	東京書庫(株)	文書の保管および運搬	1 年
平成 29 年 11 月 30 日	三菱地所リアル エステートサービス	東京 YWCA 会館 事務所の賃貸権	2 年
平成 28 年 1 月 1 日	IEEE	National Society Agreement	3 年
平成 28 年 1 月 1 日	IEEE Magnetics Society	Sister Society Agreement	3 年

### 3 会員の異動状況

会員種別	員 数		
	本年度末現在 (平成 31 年 3 月 31 日現在)	前年度末現在 (平成 30 年 3 月 31 日現在)	増減
正会員	1, 2 5 7	1, 3 5 1	- 9 4
賛助会員	7 2	7 3	- 1
学生会員	3 5 4	3 7 7	- 2 3
名誉会員	4 5	4 3	+ 2